

監 査 委 員 公 表 第 1 号
令和 8（2026）年 1 月 8 日

地方自治法第 199 条第 1 項及び第 4 項の規定に基づき定期監査を実施したので、同条第 9 項の規定によりその結果を下記のとおり公表します。

柏崎市監査委員 内 山 万寿男

柏崎市監査委員 大 橋 俊 博

柏崎市監査委員 星 野 正 仁

記

第 1 監査の概要

1 監査の対象及び選定理由

(1) 監査の対象

令和 6（2024）年 4 月 1 日から令和 7（2025）年 3 月 31 日までに執行した財務に関する以下の事務

監査対象課	監査対象事務
子ども未来部 保育課（含 保育園）	ア 保育料等の徴収事務 イ 税外収入金の徴収事務 （ア）行政財産目的外使用料 （イ）証明手数料 ウ 報酬の支給事務 （ア）嘱託医報酬 （イ）嘱託歯科医報酬 エ 契約事務 （ア）修繕請負契約 （イ）業務の委託契約 （ウ）建設工事請負契約 オ 補助金等の交付事務 （ア）地域による子育て援助活動事業補助金 （イ）私立教育・保育施設運営費補助金 （ウ）地域子ども・子育て支援事業補助金 （エ）保育所等における I C T 化推進事業費補助金

	(オ) 保育所等における性被害防止対策に係る設備等 支援事業費補助金 (カ) 私立幼稚園及び認定こども園発達障害児等介助 事業補助金 (キ) 特別保育事業補助金 (ク) 給食材料費負担軽減事業補助金 (ケ) 保育園等光熱費負担軽減事業補助金
--	--

(2) 選定理由

監査の対象とした事務については、各業務統制担当課から財務事務の執行に係る適正な事務処理について周知されていること及び監査対象課の特殊性などを考慮の上、監査対象課の実効性と周知内容の有効性などを検証するため監査対象とする。

2 監査の目的

財務に関する事務の執行が法令等の定めるところにより適正かつ効率的に行われているかどうかを主眼として実施し、今後の行政運営に資することを目的とする。

3 監査対象事務及び監査の着眼点

監査の実施に当たり、監査対象事務の主な着眼点を次のとおり設定した。

監査対象事務	主な着眼点
(1) 保育料等の徴収事務	ア 調定はその根拠となる法令等に適合しているか。 イ 納入の通知は適正に行われているか。 ウ 納期限までに納入がされていない場合の督促及び延滞金の徴収は適正に行われているか。 エ 関係帳簿の整理は適正に行われているか。
(2) 税外収入金の徴収事務	ア 調定は適正に行われているか。 イ 納入の通知は適正に行われているか。 ウ 使用許可手続は適正に行われているか。 エ 現金の取扱いは適正に行われているか。 オ 領収書の取扱いは適正に行われているか。 カ 納期限までに納入がされていない場合の督促及び延滞金の徴収は適正に行われているか。 キ 関係帳簿の整理は適正に行われているか。
(3) 報酬の支給事務	ア 委嘱手続は適正に行われているか。 イ 支払対象者及び支払金額の把握、計算は適正に行われているか。
(4) 契約事務	ア 契約の方法、手続は適正に行われているか。 イ 契約締結事務は適正に行われているか。 ウ 契約の履行確認は適切に行われているか。
(5) 補助金の交付事務	ア 交付要綱は整備されているか。 イ 事務手続は適正に行われているか。 ウ 交付対象及び交付金額の把握、計算は適正に行われているか。

4 実施する手続の内容

財務に関する事務の執行が法令等に準拠して適正かつ効率的に行われているか、また、各業務統制担当課の指示に基づく事務処理が適正に行われ、かつ有効に機能しているかなどを、関係帳簿及び証拠書類を調査するとともに、関係職員から説明を聴取するなどして実施する。

5 監査の期間

令和7（2025）年12月1日から令和8（2026）年1月8日まで

第2 監査の結果

監査を実施したところ、財務に関する事務の執行は、適正に処理されているものと認められた。